

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	小中一貫教育推進事業				所管課	教育指導課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	学校	目的	時代の要請や社会の動向を踏まえ、教育の改善やその振興及び充実を図る。				
事業概要	教育に関する専門的・技術的事項の研究（英語教育の推進、小中一貫教育の研究等）及び教育研修を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	小中一貫教育推進事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	2,270	2,789	3,107			
	概算人件費	1,848	2,281	2,281			
	トータルコスト	4,118	5,070	5,388	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.33 人		1,859 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.20 人		422 千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,281 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	小中一貫教育の認知度【戦略】 (%)	計画値	40.0	42.5	45.0	47.5	50.0
		実績値	37.6	42.0	46.4		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・令和5年度から分離型小中一貫教育校「にのみや学園」が開校し、「にのみや学園」プロジェクトを着実に進めることができた。 ・小中一貫教育設置研究会を開催し、提言書作成に向けて、議論を進めることができた。
	課題	・子ども同士の交流については、より高い教育効果を得られるように、対象学年内容等を研究する。
今年度	成果（実績）	・分離型小中一貫教育校「にのみや学園」が開校2年目を迎え、小中学校の教員が共同で各教科のカリキュラム研究を継続して行っており、9年間を通じた授業づくりについて深める活動を行うことができています。 ・小学校と中学校の交流会のみならず、小学校同士の交流会機会もふやすことで、小学校同士のつながりも推進している。
	課題	・交流会については、引き続き子ども同士、教員同士の交流機会を大切にするため内容等について研究を進めていく。 ・施設一体型小中一貫教育校設置研究会より提言書が提出されたため、今後の方向性について検討を進めていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	児童・生徒安全対策事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●	●			●	●	
事業対象	学校・地域	目的	地域との連携を強化することで、児童・生徒の日常的な防災意識の高揚と災害時の安全確保を図る。				
事業概要	児童・生徒の安全対策について、地域住民や保護者等の要望・意見を集約し、関係団体との連携により、実効性ある行動計画を企画・立案する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	02	大事業	児童・生徒安全対策事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	2,044	1,935	2,255		
		概算人件費	902	865	865		
		トータルコスト	2,946	2,800	3,120	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
R6 概算人件費		正規職員	0.19 人		865 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			865 千円		

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9	
①	通学路点検対応箇所数（合同点検実施箇所+合同点検未実施のうち対策済みの箇所数）（箇所）	計画値	38	33	34	35	36	38
		実績値		31	37			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

Scatter plot showing importance (x-axis, 3.30 to 4.50) and satisfaction (y-axis, 2.10 to 3.60). Measure 1 is plotted at (4.58, 2.99), which is in the '重点維持分野' (Key Maintenance Area) quadrant.

分析		
前年度	成果（実績）	・合同点検等を実施することで、通学路の危険個所の情報共有が保護者や関係団体等と図ることができており、安全対策の促進につながっている。 ・児童・生徒見守り重点日を設定し見守りを行った。
	課題	・通学路の安全点検について、引き続き地域の方との情報共有をしていく。
今年度	成果（実績）	・合同点検等を実施することで、通学路の危険個所の情報共有が保護者や関係団体等と図ることができており、安全対策の促進につながっている。 ・児童・生徒見守り重点日を設定し見守りを行った。
	課題	・通学路の安全点検について、引き続き地域の方との情報共有をしていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●			●	●		
事業対象	学校	目的	児童生徒が健康で安全な学校生活が送れるように努める。				
事業概要	心臓病判定委員会、健康診断日程調整会議等、児童生徒の健康管理に関する事務及び、水泳教室送迎バス借上、事業の実施。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大 事 業	教育振興経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	8,062	5,834	9,418			
	概算人件費	1,735	1,699	1,699			
	トータルコスト	9,797	7,533	11,117	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 6 概算人件費	正規職員	0.33 人		1,699 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,699 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍に伴う感染症対策などを含め、児童生徒が安全に学校生活を送るために必要な経費であり適正に事業を執行することができた。</li> <li>・水泳事業はコロナの影響はなく実施ができた。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳事業については、温水プールの廃止に伴い今後は山西プールのみでの実施になるため、雨天や猛暑への影響も踏まえ、山西プールと実施日などの調整をする必要がある。</li> </ul>
今年度	成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が安全に学校生活を送るために必要な経費であり適正に事業を執行することができた。</li> <li>・水泳事業については、雨天や猛暑の影響で当初計画通りの実施ができなかった。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳事業については、雨天や猛暑対策、教員の働き方改革の観点から、委託化等対応を進める必要がある。</li> </ul>

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	学校図書館推進事業				所管課	教育指導課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	学校	目的	図書館環境を整えることで、児童生徒の創意あふれた学習活動の充実を図る。				
事業概要	学校図書館に司書を派遣し、学校図書館の読書環境の整備とレファレンスへの対応、広報活動による図書館の活性化を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	学校図書館推進事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	1,696	1,697	1,891			
	概算人件費	4,002	4,946	4,946			
	トータルコスト	5,698	6,643	6,837	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.10 人		544 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	4.20 人		4,402 千円			
	その他	人		千円			
	合計			4,946 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	貸出冊数（冊）	計画値	22,500	22,600	22,700	22,800	23,000
		実績値	22,231	21,512	20,666		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・読書活動や調べもの学習等で有効活用されている。
	課題	・中学校の蔵書数が学校図書館図書標準に満たない。
今年度	成果（実績）	・読書活動や調べもの学習等で有効活用されている。 ・学校図書館の蔵書でカバーできない部分については、ラディアンの図書館も活用している。
	課題	・新しい図書の整備や定期的に廃棄作業について各学校では実施しているが、中学校については、学校図書館図書標準を未達である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	英語教育推進事業				所管課	教育指導課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	学校	目的	国際化が日常化する中で、学習を通じ、小中学生の日本や外国の文化等への理解を深めるとともに、英語による実践的なコミュニケーション能力を高める。				
事業概要	各学校へのALTの配置及び英語教材の整備を行うとともに、英語検定受験の奨励を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	英語教育推進事業	
		R5 決算額（千円）	R6 決算額		R7 決算見込		R8 事業費	R9 事業費
		直接事業費	9,362	9,562		10,221		
		概算人件費	439	862		862		
		トータルコスト	9,801	10,424		11,083		0
		国庫/県支出金	0	0		0		0
		その他	0	0		0		0
		R6 概算人件費	正規職員	0.07 人		440 千円		
			再任用職員	人		千円		
			会計年度任用職員	0.20 人		422 千円		
			その他	人		千円		
			合計				862 千円	

成果指標			基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	中学3年生の英検3級の取得率【戦略】（%）	計画値	42.6	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値		17.7	33.1			
②	全国学力学習状況調査全国平均との差（点）	計画値	±0	+3.5	+3.5	+3.5	+3.5	+3.5
		実績値		+3.4	-			

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・研修会を通じて、小中学校の外国語の授業改善を図ることができた。また、全国学力・学習状況調査においても英語を好きだと回答する児童生徒の割合は高い。
	課題	・英語検定奨励金制度の活用が十分ではなく、学校における周知方法等を改善していく必要がある。
今年度	成果（実績）	・小学校、中学校の教員が研究授業等を通じ、お互いの校種の授業を参観し、研究することにより授業改善を行うことができた。 ・英語検定奨励金制度が活用されはじめ、前年より英検の受験者数が増加した。
	課題	・英検3級の取得率は、上昇したが、さらに受験者数を増やすため学校における周知方法等を改善していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	学校間ネットワーク推進事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	学校	目的	校務の情報化の推進及び不審者対策用防犯カメラの運用を行い、事務の効率化及び学校の安全管理を図る。				
事業概要	学校間ネットワーク及び校務支援システムの整備を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	学校間ネットワーク推進事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	23,430	24,070	24,526		
		概算人件費	795	739	739		
		トータルコスト	24,225	24,809	25,265	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
R6 概算人件費		正規職員	0.15 人		739 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			739 千円		

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	教職員の時間外勤務の平均値(グループウェアタイムカード機能による積算値)(h/月)	計画値	44.3	41.2	38.4	35.6	32.8
		実績値		47.3	42.1		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・校務支援システム、勤怠管理システム等のICTを活用し、業務の効率化及び業務状況を把握できる環境を整えている。また、防犯カメラの設置により、不審者や緊急対応における安全管理体制を整備できている。
	課題	・教員が行う業務は慢性的に増加傾向にあるが、環境整備をすることで事務の効率化できるものについては整理し、改善できることから一つ一つ取り組む。
今年度	成果（実績）	・各種システム及び機材を活用して、業務効率化や勤怠管理、業務状況を把握できる環境を整えている。 ・防犯カメラの運用により、不審者や緊急対応における安全管理体制を整えている。
	課題	・学校における業務の効率化と安全確保に資するよう継続して取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	ICT教育推進事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●	●	
事業対象	学校	目的	ICT環境整備を推進することで、効率的かつ質の高い授業展開を図る。				
事業概要	新学習指導要領に対応した、教育用コンピューター等のICT環境を整備する。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	ICT教育推進事業	
		R5 決算額（千円）	R6 決算額		R7 決算見込		R8 事業費	R9 事業費
		直接事業費	61,162	56,376	61,917			
		概算人件費	2,630	2,492	2,492			
		トータルコスト	63,792	58,868	64,409		0	0
		国庫/県支出金	0	0	0		0	0
		その他	0	0	0		0	0
R6 概算人件費		正規職員	0.47 人		2,492 千円			
		再任用職員	人		千円			
		会計年度任用職員	人		千円			
		その他	人		千円			
		合計			2,492 千円			

成果指標			基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	週3回以上授業でICTを使用したか（全国学状調査）（%）	計画値	小63.1 中85.1	小63.1 中85.1	小79 中96	小80 中97	小81 中98	小82 中100
		実績値		小78.4 中95.0	小64.4 中94.0			
②		計画値						
		実績値						

**町民満足度調査結果（令和3年度）**

	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の「GIGAスクール構想」に基づき、1人1台端末や校内のネットワーク環境を整備した。</li> <li>成果指標からも小中ともに授業においてICTを積極的に活用してきていることが伺える。引き続きICTを活用した授業実践を積み重ねていき、情報活用能力の育成に向けた系統的な指導のあり方について研究していく。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>端末機器の借上げの5年が近づいている中、近年端末機器の更新費用が上昇している。補助金を活用するが、補助基準額以上になった場合、財政負担が大きくなる。</li> </ul>
今年度	成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の「GIGAスクール構想」に基づき、1人1台端末や校内のネットワークを適切に運用した。</li> <li>成果指標からも小中ともに授業においてICTを積極的に活用してきていることが伺える。引き続きICTを活用した授業実践を積み重ねていき、情報活用能力の育成に向けた系統的な指導のあり方について研究していく。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年及び8年において、補助金を活用しながら機器更新を行う予定であるが、近年の物価高騰もあり、町への負担が大きくなる事が見込まれる。</li> </ul>

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。				
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	02	02	大 事 業	二宮小学校教育振興経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	2,506	8,181	3,253			
	概算人件費	904	817	817			
	トータルコスト	3,410	8,998	4,070	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 6 概算人件費	正規職員	0.19 人		817 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			817 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが高満足度が、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。
	課題	・物価高騰の影響により、今後必要とする備品やその数量が十分に購入できない可能性がある。
今年度	成果（実績）	・必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。
	課題	・物価高騰により、必要な備品等の購入に影響が出る可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	一色小学校教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。				
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	02	02	大事業	
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	1,052	6,636	1,397			
	概算人件費	904	817	817			
	トータルコスト	1,956	7,453	2,214	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.19 人		817 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			817 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。
	課題	・物価高騰の影響により、今後必要とする備品やその数量が十分に購入できない可能性がある。
今年度	成果（実績）	・必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。
	課題	・物価高騰により、必要な備品等の購入に影響が出る可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	山西小学校教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。				
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	02	02	大 事 業	山西小学校教育振興経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	1,383	6,763	1,307		
		概算人件費	904	817	817		
		トータルコスト	2,287	7,580	2,124	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		R6 概算人件費	正規職員 0.19 人		817 千円		
			再任用職員 人		千円		
			会計年度任用職員 人		千円		
			その他 人		千円		
			合計		817 千円		

成果指標		計画値	実績値	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-								
②									

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。
	課題	・物価高騰の影響により、今後必要とする備品やその数量が十分に購入できない可能性がある。
今年度	成果（実績）	・必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。
	課題	・物価高騰により、必要な備品等の購入に影響が出る可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	二宮中学校教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、生徒の教育効果の向上を図る。				
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する						

事業予算							
会計	01	款項目	09	03	02	大 事 業	二宮中学校教育振興経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	3,749	2,933	5,841			
	概算人件費	904	817	817			
	トータルコスト	4,653	3,750	6,658	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 6 概算人件費	正規職員	0.19 人		817 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			817 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。
	課題	・物価高騰の影響により、今後必要とする備品やその数量が十分に購入できない可能性がある。
今年度	成果（実績）	・必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。
	課題	・物価高騰により、必要な備品等の購入に影響が出る可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、生徒の教育効果の向上を図る。				
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	03	02	大 事 業	二宮西中学校教育振興経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	2,574	2,219	5,686			
	概算人件費	904	817	817			
	トータルコスト	3,478	3,036	6,503	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 6 概算人件費	正規職員	0.19 人		817 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			817 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。
	課題	・物価高騰の影響により、今後必要とする備品やその数量が十分に購入できない可能性がある。
今年度	成果（実績）	・必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。
	課題	・物価高騰により、必要な備品等の購入に影響が出る可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	教育相談・教育支援室事業				所管課	教育指導課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	学校	目的	学業上の悩みについての教育相談及び不登校児童・生徒への支援を通じて、児童生徒の心のケアを図る。				
事業概要	心理士、スクールソーシャルワーカー等による教育相談を行うとともに、不登校児童・生徒への支援を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	教育相談・教育支援室事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	189	299	300		
		概算人件費	12,404	7,800	7,800		
		トータルコスト	12,593	8,099	8,100	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
R6 概算人件費		正規職員	0.43 人		2,485 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	6.20 人		5,315 千円		
		その他	人		千円		
		合計			7,800 千円		

成果指標		計画値	実績値	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	年間相談件数（件）	計画値		1,401	1,750	1,750	1,750	1,750	1,750
		実績値			1,589	1,966			
②	相談援助職の月あたりの合計稼働日数（県雇用含む）（日）	計画値		心理・SC 20	SC 28				
		実績値		SSW 15	SSW 14				

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを派遣型から学校常駐型に変更したことで、困り感や悩みを抱える児童生徒に対して、これまで以上に早期発見できるようになった。また、校内の教職員と専門職が連携しやすくなり、教育相談体制の充実につながった。
	課題	・心理検査依頼件数が増えていて、勤務時間内では対応できないケースが増えている。心理検査を円滑に行うための体制整備が必要である。
今年度	成果（実績）	・スクールカウンセラーを令和5年度から各小中学校に週1日、常駐する体制をとっており、児童・生徒、保護者等の困り感や悩みに寄り添うことができおり、教育相談体制の充実につながっている。
	課題	・心理検査依頼件数が増加してきている、また複雑な背景をもつ相談が増えてきている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	コミュニティ・スクール運営促進事業				所管課	教育指導課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●			●	●	
事業対象	学校・地域	目的	地域とともにある学校づくりの手法のひとつとして、コミュニティ・スクールの運営を促進することで、児童生徒の豊かな成長を支援する。				
事業概要	学校運営協議会の活動に対する支援及び組織体制の強化を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	コミュニティ・スクール運営促進事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	2,900	2,651	3,273		
		概算人件費	487	923	923		
		トータルコスト	3,387	3,574	4,196	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
R6 概算人件費		正規職員	0.09 人		501 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	0.20 人		422 千円		
		その他	人		千円		
		合計			923 千円		

成果指標			基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	コミュニティ・スクールの認知度【戦略】（%）	計画値	21.4	23.0	25.0	27.0	29.0	30.0
		実績値		22.9	21.3			
②	各校の学校運営協議会の開催回数（回）	計画値	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
		実績値		4.0	4.0			

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域と連携した教育活動の充実	4.03	3.02
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・各学校運営協議会の活動が活発に行われるようになってきた。
	課題	・各学校の運営協議会の活動が通常に戻っていく中で、協議会ごとに課題があり、地区によっても受け止めに対して温度差がある。そのため、にのみや学園としての学校運営協議会として向かっていく中で、活動内容や課題の共有化、また地域へ活動内容の周知を行いコミュニティスクールの認知を高めていく必要がある。
今年度	成果（実績）	・各学校運営協議会の活動が活発に行われるようになってきた。 ・各学校運営協議会の会長等が一斉に集まり情報交換会を開催し、互いの協議会の課題等の情報共有を図ることが出来ている。
	課題	・協議会ごとに課題があり、地区によっても受け止めに対して温度差がある。そのため、にのみや学園としての学校運営協議会として向かっていく中で、活動内容や課題の共有化、また地域へ活動内容の周知を行いコミュニティスクールの認知を高めていく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校施設管理運営経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。				
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	02	01	大 事 業	二宮小学校施設管理運営経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	3,519	3,142	3,252			
	概算人件費	3,579	4,060	4,060			
	トータルコスト	7,098	7,202	7,312	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 6 概算人件費	正規職員	0.68 人		3,220 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.50 人		840 千円			
	その他	人		千円			
	合計			4,060 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学校施設の整備	4.42	2.92
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。
	課題	・物価高騰の影響により、今後必要とする備品やその数量が十分に購入できない可能性がある。
今年度	成果（実績）	・必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。
	課題	・物価高騰により、必要な物品の購入等に影響が出る可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	一色小学校施設管理運営経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。				
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	02	01	大 事 業	一色小学校施設管理運営経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	2,360	2,314	2,555		
		概算人件費	3,924	4,060	4,060		
		トータルコスト	6,284	6,374	6,615	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		R 6 概算人件費	正規職員	0.68 人	3,220 千円		
			再任用職員	人	千円		
			会計年度任用職員	0.50 人	840 千円		
			その他	人	千円		
			合計		4,060 千円		

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学校施設の整備	4.42	2.92
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。
	課題	・物価高騰の影響により、今後必要とする備品やその数量が十分に購入できない可能性がある。
今年度	成果（実績）	・必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。
	課題	・物価高騰により、必要な物品の購入等に影響が出る可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	山西小学校施設管理運営経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。				
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	02	01	大 事 業	山西小学校施設管理運営経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	2,982	2,635	2,376			
	概算人件費	4,138	4,314	4,314			
	トータルコスト	7,120	6,949	6,690	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 6 概算人件費	正規職員	0.68 人		3,474 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.50 人		840 千円			
	その他	人		千円			
	合計			4,314 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学校施設の整備	4.42	2.92
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。
	課題	・物価高騰の影響により、今後必要とする備品やその数量が十分に購入できない可能性がある。
今年度	成果（実績）	・必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。
	課題	・物価高騰により、必要な物品の購入等に影響が出る可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校教育施設整備事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。				
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	02	01	大 事 業	二宮小学校教育施設整備事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	5,082	1,223	0			
	概算人件費	3,319	3,844	3,844			
	トータルコスト	8,401	5,067	3,844	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 6 概算人件費	正規職員	0.62 人		3,004 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.50 人		840 千円			
	その他	人		千円			
	合計			3,844 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学校施設の整備	4.42	2.92
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。
	課題	・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。
今年度	成果（実績）	・必要な整備にと組むことにより、教育環境が整備できている。
	課題	・老朽化への計画的な対応とともに、緊急的な整備に迅速に取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	一色小学校教育施設整備事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。				
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	02	01	大 事 業	一色小学校教育施設整備事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	2,426	1,017	0		
		概算人件費	3,664	3,977	3,977		
		トータルコスト	6,090	4,994	3,977	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
R 6 概算人件費		正規職員	0.62 人		3,004 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	0.50 人		973 千円		
		その他	人		千円		
		合計			3,977 千円		

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学校施設の整備	4.42	2.92
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。
	課題	・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。
今年度	成果（実績）	・必要な整備にと組むことにより、教育環境が整備できている。
	課題	・老朽化への計画的な対応とともに、緊急的な整備に迅速に取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	山西小学校教育施設整備事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。				
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	02	01	大事業	山西小学校教育施設整備事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	39,257	68,934	0			
	概算人件費	4,170	4,515	4,515			
	トータルコスト	43,427	73,449	4,515	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.70 人		3,591 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.50 人		924 千円			
	その他	人		千円			
	合計			4,515 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学校施設の整備	4.42	2.92
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。
	課題	・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。
今年度	成果（実績）	・必要な整備にと組むことにより、教育環境が整備できている。
	課題	・老朽化への計画的な対応とともに、緊急的な整備に迅速に取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	二宮中学校施設管理運営経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び生徒の安全の確保に努める。				
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	03	01	大 事 業	二宮中学校施設管理運営経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額		R7 決算見込		R8 事業費
		直接事業費	3,051	3,079		3,730	
		概算人件費	3,655	3,669		3,669	
		トータルコスト	6,706	6,748		7,399	
		国庫/県支出金	0	0		0	
		その他	0	0		0	
R 6 概算人件費		正規職員	0.18 人		731 千円		
		再任用職員	0.50 人		1,130 千円		
		会計年度任用職員	1.00 人		1,808 千円		
		その他	人		千円		
		合計			3,669 千円		

成果指標		計画値	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学校施設の整備	4.42	2.92
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。
	課題	・物価高騰の影響により、今後必要とする備品やその数量が十分に購入できない可能性がある。
今年度	成果（実績）	・必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。
	課題	・物価高騰により、必要な物品の購入等に影響が出る可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校施設管理運営経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び生徒の安全の確保に努める。				
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	03	01	大 事 業	二宮西中学校施設管理運営経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	2,776	2,219	2,858			
	概算人件費	2,952	3,662	3,662			
	トータルコスト	5,728	5,881	6,520	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 6 概算人件費	正規職員	0.18 人		731 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	1.00 人		2,931 千円			
	その他	人		千円			
	合計			3,662 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学校施設の整備	4.42	2.92
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。
	課題	・物価高騰の影響により、今後必要とする備品やその数量が十分に購入できない可能性がある。
今年度	成果（実績）	・必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。
	課題	・物価高騰により、必要な物品の購入等に影響が出る可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	二宮中学校教育施設整備事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。				
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	03	01	大 事 業	二宮中学校教育施設整備事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	3,589	2,933	0		
		概算人件費	3,395	3,452	3,452		
		トータルコスト	6,984	6,385	3,452	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
R 6 概算人件費		正規職員	0.12 人		515 千円		
		再任用職員	0.50 人		1,129 千円		
		会計年度任用職員	1.00 人		1,808 千円		
		その他	人		千円		
		合計			3,452 千円		

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学校施設の整備	4.42	2.92
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。
	課題	・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。
今年度	成果（実績）	・必要な整備にと組むことにより、教育環境が整備できている。
	課題	・老朽化への計画的な対応とともに、緊急的な整備に迅速に取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校教育施設整備事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。				
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	03	01	大 事 業	二宮西中学校教育施設整備事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額		R7 決算見込		R8 事業費
		直接事業費	17,685	459	41,038		
		概算人件費	2,984	3,779	3,779		
		トータルコスト	20,669	4,238	44,817		0
		国庫/県支出金	0	0	0		0
		その他	0	0	0		0
R 6 概算人件費		正規職員	0.20 人		848 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	1.00 人		2,931 千円		
		その他	人		千円		
		合計			3,779 千円		

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学校施設の整備	4.42	2.92
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。
	課題	・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。
今年度	成果（実績）	・必要な整備にと組むことにより、教育環境が整備できている。
	課題	・老朽化への計画的な対応とともに、緊急的な整備に迅速に取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	学校給食施設管理運営経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校給食を適切に管理運営し、児童生徒に安心安全でおいしい給食を提供する。				
事業概要	施設の管理を通して、学校給食業務の環境の充実を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	05	03	大事業	学校給食施設管理運営経費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	38,900	39,662	42,102			
	概算人件費	5,822	7,664	7,664			
	トータルコスト	44,722	47,326	49,766	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	1.20 人		5,102 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	2.00 人		2,562 千円			
	その他	人		千円			
	合計			7,664 千円			

成果指標			基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	米飯の残食率（小学校） （％）	計画値	6.3	6.3	10.0	9.0	8.0	7.0
		実績値		11.2	17.2			
②	米飯の残食率（中学校） （％）	計画値	12.2	12.2	13.0	12.0	11.0	10.0
		実績値		14.0	20.0			

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学校施設の整備	4.42	2.92
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・地場産デーとして、学期に1回（1学期はたまねぎ、無農薬野菜のなす、ズッキーニ、ピーマン、2学期はに二宮町で取れたサバ、2月に二宮産の原木しいたけ）地場産の食材を使用した献立を提供した。また、地場産デーに合わせて、給食時間を活用し、栄養士が7月に二宮小学校、10月に山西小学校、2月に一色小学校を訪問し、放送を通じて子ども達に給食の魅力をたっぷり伝え、「食材」を知り、「食」を選択することができる「食育」を実施した。
	課題	・給食センターが平成22年7月に建築されてから13年が経過しているため、施設設備及び厨房機器において『修繕計画』に基づいて進めていく必要がある。
今年度	成果（実績）	・地場産デーを学期に1回実施し、地場産の食材を使用した献立を提供した。また、地場産デーに合わせて、給食時間を活用し、栄養士が各校に訪問し子ども達に給食の魅力を伝える「食育」を実施した。
	課題	・建築から14年が経過する中で、施設設備及び厨房機器の計画的な修繕や更新に取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持